

Contents

短期集中 ターゲット学習

初めてでも分かりやすい！ 動画で学ぶ本！	2
2級建築施工管理技術検定学科試験 受験ガイダンス	6
完全合格ターゲット 重要事項を集約！	16

分野別 最新問題解説&重要項目集

第1分野 建築学等	無料 YouTube 動画講習
過去問題の出題分析	87
最新問題解説	88
技術検定試験 重要項目集	209
第2分野 建築施工（躯体工事・仕上げ工事）	無料 YouTube 動画講習
過去問題の出題分析	237
最新問題解説	239
技術検定試験 重要項目集	413
第3分野 施工管理	無料 YouTube 動画講習
過去問題の出題分析	454
最新問題解説	455
技術検定試験 重要項目集	519
第4分野 建築法規	無料 YouTube 動画講習
過去問題の出題分析	549
最新問題解説	550
技術検定試験 重要項目集	602

実力確認 精選模試

● 虎の巻(精選模試) 第一巻	無料 YouTube 動画講習 625
● 虎の巻(精選模試) 第二巻	無料 YouTube 動画講習 634

初めてでも
分かりやすい!
動画で学ぶ本!



本書
スーパーテキスト® シリーズ
分野別 問題解説集



④ 無料 YouTube 動画講習

これなら解る!
Good!

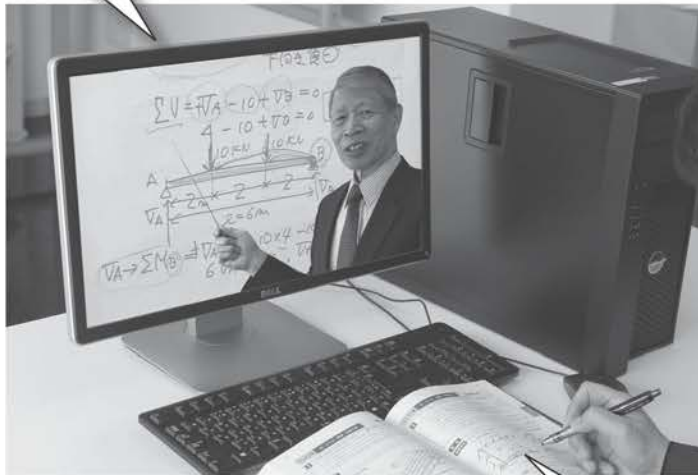
合計16時間の学習で完全攻略!

本書は最短の学習時間で国家資格を取得できる自己完結型の学習システムです!

本書「スーパーテキスト® シリーズ 分野別 問題解説集」は、最新問題演習と YouTube 動画講習を融合させた、短期間で合格力を獲得できる自己完結型の学習システムです。

学習内容を先行して理解できる!
YouTube 動画講習を活用しよう!

YouTube 動画講習を活用すると、分単位で生じる生活の隙間時間に、スマートフォンやパソコンを通じて学習の全体像を把握することができます。



合計 16 時間の学習で対策完了!
最新問題演習に取り組もう!

本書の完全合格ターゲットには、学習の要点が集約されています。また、本書の最新問題解説では、最新 10 回分の試験問題を徹底解説しています。



海外派遣技術者にも広がる動画の力

弊社のスーパーテキスト® シリーズは、累計 30 万部以上のベストセラーです。最近では、大手重機メーカーや大手電機メーカーなどにおいて、海外派遣技術者に本シリーズを携帯させるなどの事例が広がっています。いつでも・どこでも学ぶことができる YouTube を活用した学習方法を、是非ご利用ください。

無料 YouTube 動画講習 受講手順

スマホから



<http://www.get-ken.jp/>

GET研究所 検索



← スマホ版無料動画コーナー QRコード

URL <https://get-supertext.com/>

(注意) スマートフォンでの長時間聴講は、Wi-Fi 環境が整ったエリアで行いましょう。

① スマートフォンのカメラでこの QR コードを撮影してください。



② 画面右上の「動画を選択」をタップしてください。



③ 受講したい受験種別をタップしてください。



④ 動画のタイトルをタップすると動画が再生されます。



GET WEB 講習

パソコンから  <http://www.get-ken.jp/>
GET研究所 **検索**

①



約 63,100,000 件 (0.27 秒)

GET 研究所-舗装・土木・建築・電気・管工事の施工管理技士資格  www.get-ken.jp/

効果的な新学習法 動画で学ぶ本! GET 研究所の舗装・土木・建築・電気・管工事の施工管理技士資格のスーパーテキストシリーズは、最新問題演習と無料動画講義をセットにした画期的な学習法により、最短の学習時間で最大の学習効果を得ることができ...

GET 研究所-舗装・土木・建築... GETMENU動画 | 舗装・土木...

効果的な新学習法 動画で学ぶ本!
GET 研究所の舗装・土木・建築...

電気工事施工管理  [GETサービスメニュー](#) 

スーパーテキストシリーズ 平成30年度 分野別問題解説集 2級電気工...

資料ダウンロード  [舗装・土木・建築・電気・管工事...](#)

②



GET研究所 検索: 土木・建築・電気・管工事 1・2級施工管理技士資格のGET研究所

ホーム 学習計画管理 資格資料 卒業生の声 研修生募集入口

施工管理技士試験 合格のための
スーパーテキストWEB講座

スーパーテキストWEB講座ラインナップ (スーパーテキストをもっと活かしたい方のための専用有料講座コーナーです)

舗装施工管理	土木施工管理	建築施工管理	電気工事施工管理	管工事施工管理	測量士級 - その他
1級一般問題演習	1級学点問題演習	1級学点問題演習	1級学点問題演習	1級学点問題演習	測量士級 - その他
1級実地問題演習	1級実地問題演習	1級実地問題演習	1級実地問題演習	1級実地問題演習	
2級一般問題演習	2級学点問題演習	2級学点問題演習	2級学点問題演習	2級学点問題演習	
2級実地問題演習	2級実地問題演習	2級実地問題演習	2級実地問題演習	2級実地問題演習	

登録のり

2018.06.21 更新 今後は平成30年度施工管理技士試験対策の準備が本格化する中、GET研究所では

2018.06.21 更新 今後は平成30年度施工管理技士試験対策の準備が本格化する中、GET研究所では

2018.06.14 更新 今後は平成30年度施工管理技士試験対策の準備が本格化する中、GET研究所では

2018.06.11 更新 今後は平成30年度施工管理技士試験対策の準備が本格化する中、GET研究所では

スーパーテキスト 無料動画

スーパーテキスト 無料動画 → 本テキスト動画視聴のパスワード

表示された「スーパーテキスト無料動画」の「ログイン」の入力スペースに、スーパーテキストに記載されている動画講習視聴用のパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。

③




スーパーテキスト無料動画 (ログイン)

ログイン

パスワードを入力してください (パスワードを入力してください)

④

受講したい工事種別を選択します。クリックすると動画一覧に飛びます。



スーパーテキスト無料動画

施工管理YouTubeサービス

動画を見る

目的の動画タイトルを見るボタンです。

準備中

まだ掲載されていない動画のボタンです。公開までお待ち下さい。

⑤



GETハイブリッド型学習支援合格講座シリーズ
2級建築施工管理技術検定学科試験受験対策講座

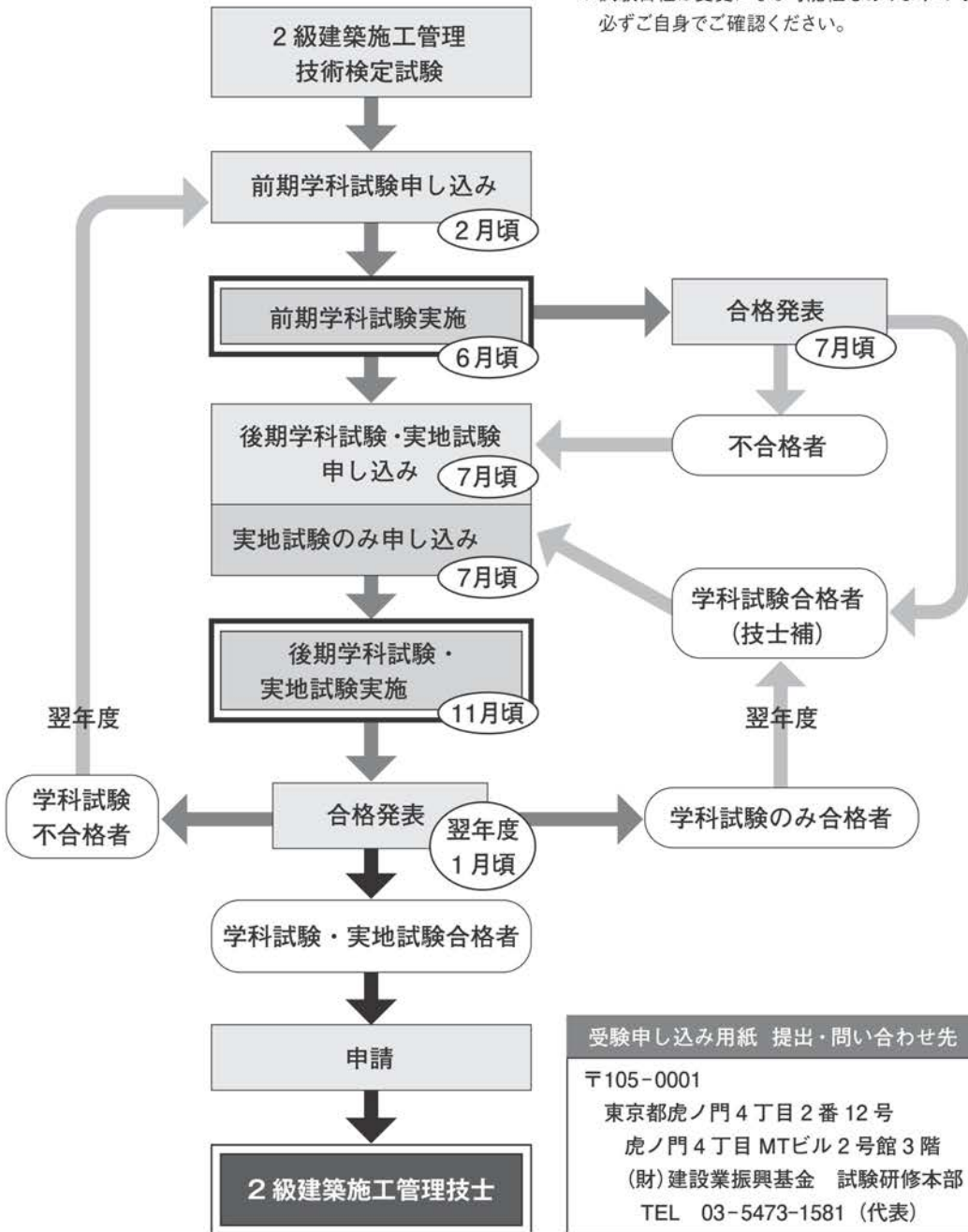
分野別 解説講習

画面中央の再生ボタンをクリックすると動画が再生されます。

2級建築施工管理 学科試験 受験ガイダンス

1 学科試験の流れ図

※試験日程は変更になる可能性もありますので、必ずご自身でご確認ください。



受験申し込み用紙 提出・問い合わせ先
〒105-0001
東京都虎ノ門4丁目2番12号
虎ノ門4丁目MTビル2号館3階
(財)建設業振興基金 試験研修本部
TEL 03-5473-1581 (代表)

2 学科試験の出題数・解答数

1 学科試験

試験時間		出題数	解答する題数	合格基準
午前の部	2時間30分	50問	40問	$40 \times 0.6 = 24$ 問以上正答

※午後の部は実地試験(所要時間2時間、5問中5問全問必須、合格基準60%以上)です。

※平成30年度の学科試験の合格率は、前期学科試験が39.7%、後期学科試験が24.7%でした。

※試験時間・出題数等は、変更になることもあります。

2 分野別出題数と解答数

出題分野	出題項目	出題数	解答する題数	摘要	
建築学等	環境工学	3	14	9	選択
	一般構造	4			
	構造力学	3			
	建築材料	4			
建築関連技術	外構・設備・図書	3	3	3	必須
建築施工	躯体工事	7	15	12	選択
	仕上げ工事	8			
施工管理	施工計画	3	10	10	必須
	工程管理	2			
	品質管理	3			
	安全管理	2			
建築法規	建築基準法	2	8	6	選択
	建設業法	2			
	労働関係法	3			
	建築関連法規	1			
合計		50	40	合格：24問以上正答	

学科試験の出題数の変更について

平成30年度の学科試験は、65問中40問を選択して解答する形式であった平成29年度までの学科試験とは異なり、50問中40問を選択して解答する形式になった。これまでは、「躯体工事」分野で15問中6問を選択し、「仕上げ工事」分野で15問中6問を選択していたが、この2つの分野が「建築施工」分野に統合され、「建築施工」分野で15問中12問を選択することになった。

これまでは選択の幅が広がったので、自分の得意な分野だけを選択して学習すればよかったが、これからは選択の幅が狭まったので、躯体工事・仕上げ工事の広い分野についての学習が必要になったと考えられる。すなわち、無視することのできる(解答しないことを選択できる)問題数が18問から3問に激減したため、試験の難易度は上昇したと思われる。

3 学科試験の出題内容

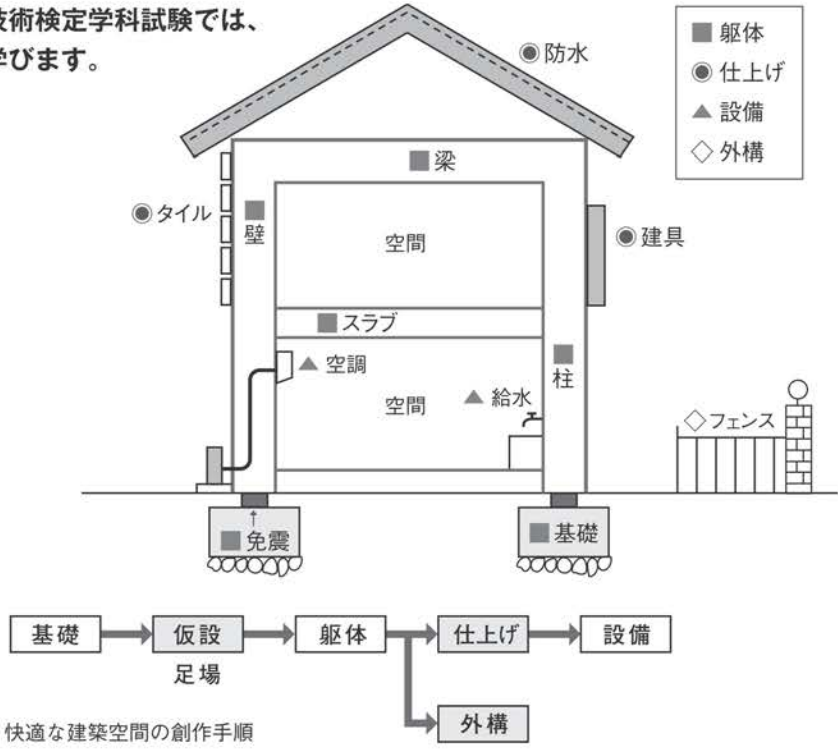
分野	項目	出題テーマ	出題数	解答数
建築学等	環境工学	換気・伝熱、気候・照明、音・色	3	14問中 9問選択
	一般構造	RC造、S造、基礎(構造)	4	
	構造力学	荷重、曲げモーメント、反力、断面の性質	3	
	建築材料	セメント・コンクリート、鋼材・金属	2	
		石、ガラス、防水材料、内装材料	2	
建築関連技術	外構工事	舗装、造園工事	1	3問 全問必修
	機械・電気設備	空調・給排水、電気設備工事	1	
	設計図書	公共工事標準請負契約約款、積算	1	
建築施工 (躯体工事)	仮設工事・基礎工事	仮設工事、土工事、地業工事	2	15問中 12問選択
	鉄筋コンクリート工事	鉄筋加工・組立、継手、型枠、コンクリート工事	3	
	鉄骨工事・木工事	鉄骨工事・高力ボルト・在来軸組構法	1	
	建設機械・各種躯体工事	クレーン、移動式クレーン、建設機・ALCパネル工事	1	
建築施工 (仕上げ工事)	防水工事	アスファルト防水、シーリング工事	2	
	石・タイル・屋根・建具・金属工事	石、タイル、屋根、軽量鉄骨、建具、金属工事	2	
	左官・塗装工事	左官、塗装工事	2	
	内装・外装工事	内装工事、床・壁工事、外壁工事、カーテン・カーペット工事	2	
施工管理	施工計画	施工計画、総合仮設計画、工種別施工計画、事前調査、材料の保管、公官署への届出	3	10問 全問必修
	工程管理	工程計画、工程表の種類と特徴、	2	
	品質管理	品質計画、QC工程表、ISO・JIS Q 9000、品質七つ道具、躯体・仕上げの品質管理	3	
	安全管理	労働災害統計、事業者の措置(選任)、移動式クレーン・足場の安全、有機溶剤、酸欠作業安全	2	

受験ガイダンス&学び方講習 - 4

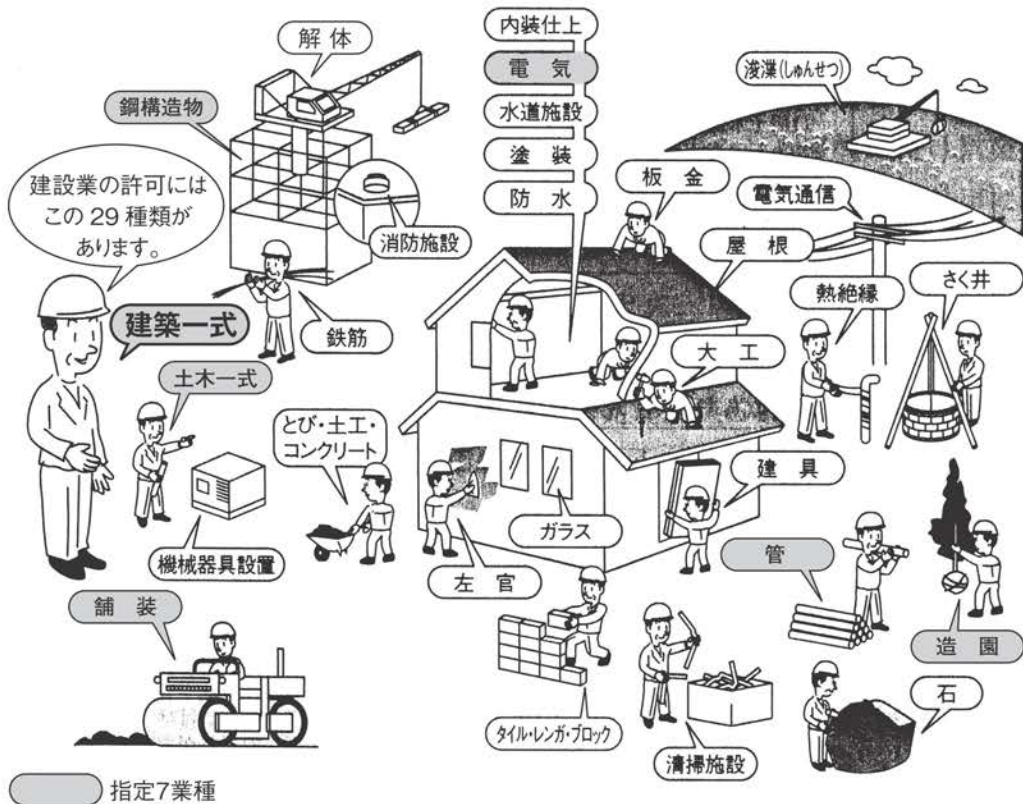
分野	項目	出題テーマ	出題数	解答数
建築法規	建築基準法	用語定義、建築手続、構造、耐火、避難、都市計画法の敷地、構造、設備、用途	2	8問中 6問選択
	建設業法	建設業の許可者、建設業の許可の種類、請負契約、元請負人の義務、技術者	2	
	労働関係法	労働契約、年少者就業制限、労働、安全衛生教育、安全管理体制	3	
	建築関連法規	建設リサイクル法：特定建設資材、対象建設工事 消防法：消防設備、消防設備士 都市計画法：開発行為の許可	1	
合計			50	40

※各項目の出題数は年度によって異なります。

2級建築施工管理技術検定学科試験では、このようなことを学びます。



2級建築施工管理技士になると、このような仕事の管理技術者になることができます。



4 建築施工管理技士の役割

その昔、人類は住居を造るために、木を骨格として組み、蔓つるで木と木を縛りつけ、そこを茅かやなどで葺いた。今日の建築施工でいえば、木組みを造ることが躯体工事であり、木組に茅などを葺くことが仕上げ工事である。

木組は、嵐などの外力に耐えるようにする必要があった。茅葺は、雨が漏らないようにする必要があった。この時代の施工管理は、土に埋め込んでも腐りにくい木を選定すること、強風に耐えられる強度を持つ蔓を選定すること、木と木の継手を耐久性・たわみ性のある結び方で造ることなどであった。

木組という躯体に求められる品質は、構造耐力と耐久性であり、材料の継手が重要な品質管理の要素であったといえる。このことは、今日の建築施工管理でいえば、鉄骨の溶接・高力ボルト接合などの品質管理に繋がるものである。

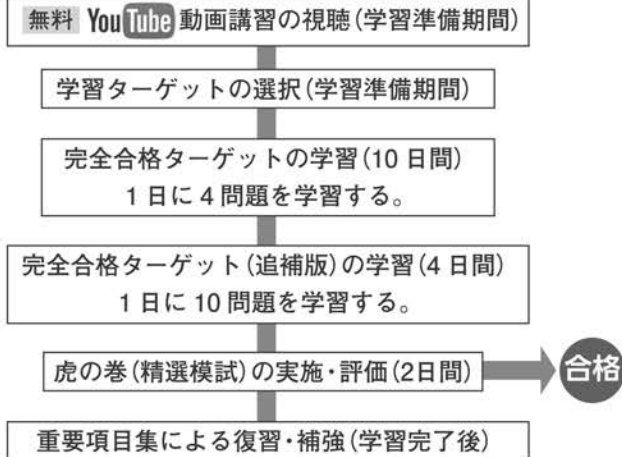
こうして竪穴式住居を造っていた時代は、施工管理というものはすべてが経験則であった。一方、現在の建築施工では、建築工事監理指針やJASSなどにより厳格に定められた基準がある。人類の重要な技術的遺産である経験則を継承し、発展させ、快適な住環境を社会に提供することが、2級建築施工管理技士の役割であるといえよう。

5 学科試験に向けた勉強法

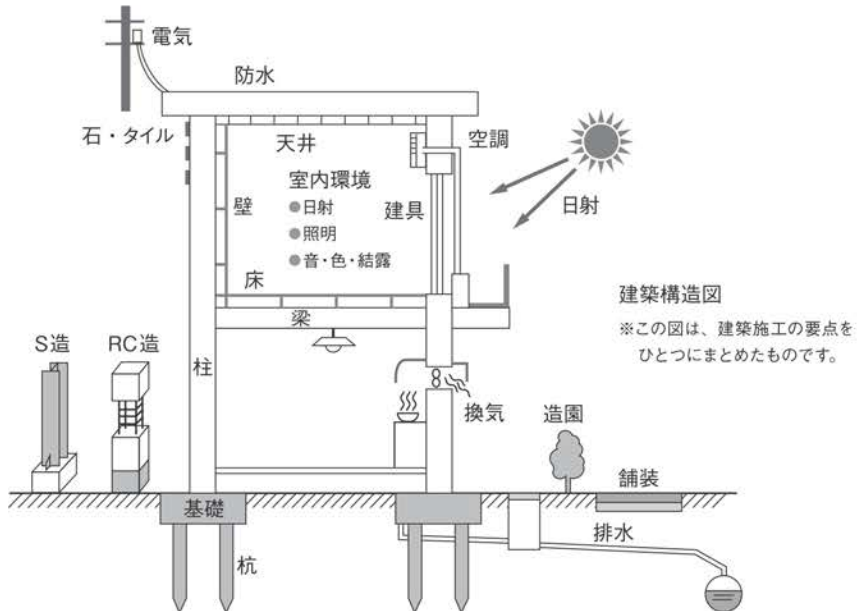
※この勉強法は、初めて学科試験を受ける方に向けたものです。これまでも学科試験を受けたことがあるなど、既に自らの勉強法が定まっている方は、その方法を踏襲してください。しかし、この勉強法は本当に効率的なので、勉強法が定まっていない方は、活用することをお勧めします。

1日1時間の学習を16日間、合計16時間で対策完了！完全合格ターゲットを活用しよう！

学習の進め方



※各項目の詳細については次ページ以降を参照してください。



6 「無料 YouTube 動画講習」の視聴

本書を購入した方は、**無料 YouTube 動画講習**を視聴することができます。本書の学習を始める前に、この動画講習を視聴すると、学習の全体像を把握し、理解力を高めることができます。是非ご活用ください。

ゲット
GET研究所の動画サポートシステム



学習項目	無料 GET WEB 講習
受験ガイダンス	受験ガイダンス & 学び方講習 無料 YouTube 動画講習
分野別 最新問題解説	建築学等の図解講習 躯体工事の図解講習 仕上げ工事の図解講習 施工管理の図解講習 建築法規の図解講習 無料 YouTube 動画講習
分野別 重要項目集	
虎の巻(精選模試)	「虎の巻」解説講習 無料 YouTube 動画講習

最新の学科試験の動画解説を視聴できます！

令和元年度前期学科試験の解説講習 (令和元年 6月末予定)	無料 YouTube 動画講習
令和元年度後期学科試験の解説講習 (令和元年 11月末予定)	無料 YouTube 動画講習

7 学習ターゲットの選択

あなたが学習する 40 問題を選択してください。建築工事の経験がない方や、何を学習すべきかが分からない方は、**表 1**の「学習ターゲットの設定(未経験者用)」を使用してください。建築工事の経験がある方や、自分の得意分野が分かっている方は、**表 2**の「学習ターゲットの設定(経験者用)」に○×を書き込んでください。

※学科試験では、50 問題が出題されますが、解答するのは 40 問題だけなので、50 問題すべてを学習するよりも、40 問題だけに絞って学習した方が効果的です。時間に余裕のある方は、すべての問題を学習し、実務に役立つ知識をたくさん身に付けてください。

- ：必須問題です。(学習は必須です)
- ：選択問題です。(学習が必要です)
- ×：廃棄問題です。(学習は不要です)

学習ターゲット

表 1

分野	解答数	学習ターゲットの設定(未経験者用)																
		No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17
建築学等	14 問中 9 問選択																	
	3 問中 3 問必須	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	●	●	●
建築施工	15 問中 12 問選択	No.18	No.19	No.20	No.21	No.22	No.23	No.24	No.25	No.26	No.27	No.28	No.29	No.30	No.31	No.32		
		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×		
施工管理	10 問中 10 問必須	No.33	No.34	No.35	No.36	No.37	No.38	No.39	No.40	No.41	No.42							
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
建築法規	8 問中 6 問選択	No.43	No.44	No.45	No.46	No.47	No.48	No.49	No.50									
		○	○	○	○	○	○	×	×									

※この学習ターゲットでは、構造計算などの難易度の高い分野を除外した上で、実地試験の出題対象となる項目を優先して選択しています。

表 2

分野	解答数	学習ターゲットの設定(経験者用)																
		No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17
建築学等	14 問中 9 問選択																	
	3 問中 3 問必須															●	●	●
建築施工	15 問中 12 問選択	No.18	No.19	No.20	No.21	No.22	No.23	No.24	No.25	No.26	No.27	No.28	No.29	No.30	No.31	No.32		
施工管理	10 問中 10 問必須	No.33	No.34	No.35	No.36	No.37	No.38	No.39	No.40	No.41	No.42							
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
建築法規	8 問中 6 問選択	No.43	No.44	No.45	No.46	No.47	No.48	No.49	No.50									

※本書の 16 ページ～ 65 ページに掲載されている完全合格ターゲットには、ここで決めた○×を書き写すことができる選択欄が設けられています。

8 完全合格ターゲットの学習

本書の16ページ～65ページに掲載されている完全合格ターゲットは、平成30年度から平成27年度までの6回の試験に出題された問題について、正答の選択肢または最重要の選択肢に着目し、その要点を徹底的に集約することで、「これだけは理解する必要がある」事項をまとめたものです。本書の88ページ～601ページに掲載されている最新問題解説と照らし合わせながら学習を進めることで、短時間で効率的に実力を身につけることができるようになっています。

- ① 各問題の学習時間は15分を目安とし、1日で4問題を学習するのが標準的な学習手順となっています。しかし、この学習時間や1日に学習する問題数は、受験者の方が自身の都合や習熟度にあわせて設定するのが最適です。
- ② 完全合格ターゲットでは、各問題について2つのチェック欄が付いています。左側のチェック欄には、その文章の内容が理解できたらチェックを付けてください。右側のチェック欄は、復習の時に使用してください。
- ③ 完全合格ターゲットでは、同じ内容が複数の年度に記されている場合があります。これは、同じ内容の問題が繰り返し出題されていることを意味します。このような問題は、特に重要と考えられるので、確実に習得しておく必要があります。
- ④ 建築施工の分野(問題18～問題32)に関しては、平成30年度以降の出題数が15問であるのに対し、平成29年度以前の出題数が30問であったため、平成29年度以前の問題については、より重要と思われる問題のみを抽出し、整理・統合して記載しています。
- ⑤ 完全合格ターゲットでは、各問題の要点をできる限り短い文章に集約しているため、表現が必ずしも正確ではない場合(前提条件や例外規定の省略など)があります。詳細な内容については、本書の対応する最新問題解説を参照してください。
- ⑥ 完全合格ターゲットでは、その問題番号に関する重要な用語や図について、各問題の下にまとめています。特に建築施工(躯体工事・仕上げ工事)については、文章で理解するよりも図で直感的に理解する方が分かりやすいです。
- ⑦ 前頁で「学習ターゲットの設定(未経験者用)」を使用した受験者向けの標準的な学習日程は、下表の通りです。

完全合格ターゲットの学習日程

分野	解答数	学習日程の提案(未経験者用)																
		No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17
建築学等	14問中9問選択 3問中3問必須	No.18	No.19	No.20	No.21	No.22	No.23	No.24	No.25	No.26	No.27	No.28	No.29	No.30	No.31	No.32		
		1日	1日	1日	1日	2日	2日	-	-	-	-	2日	2日	3日	-	3日	3日	3日
建築施工	15問中12問選択	No.33	No.34	No.35	No.36	No.37	No.38	No.39	No.40	No.41	No.42							
		4日	4日	4日	4日	5日	5日	5日	-	5日	6日	6日	6日	6日	-	-		
施工管理	10問中10問必須	No.43	No.44	No.45	No.46	No.47	No.48	No.49	No.50									
		7日	7日	7日	7日	8日	8日	8日	8日	9日	9日							
建築法規	8問中6問選択	No.43	No.44	No.45	No.46	No.47	No.48	No.49	No.50									
		9日	9日	10日	10日	10日	10日	-	-									

9 完全合格ターゲット(追補版)の学習

本書の66ページ～85ページに掲載されている完全合格ターゲット(追補版)は、平成26年度から平成23年度までの4回の試験に出題された問題について、その要点をまとめたものです。前頁の完全合格ターゲットの学習を一通り完了させてから、復習を兼ねて学習を進めると、学習の効果を高めることができます。

- ①各問題の学習時間は6分を目安とし、1日で10問題を学習するのが標準的な学習手順となっています。完全合格ターゲット(平成30年度～平成27年度の問題)と重複する内容が多くなっているため、素早く学習を進めることが可能です。
- ②その他の留意事項については、前頁の完全合格ターゲットと同じです。

完全合格ターゲット(追補版)の学習日程

分野	解答数	学習日程の提案(未経験者用)																
		No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17
建築学等	14問中9問選択 3問中3問必須	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17
		11日	11日	11日	11日	11日	11日	—	—	—	—	11日	11日	11日	—	11日	12日	12日
建築施工	15問中12問選択	No.18	No.19	No.20	No.21	No.22	No.23	No.24	No.25	No.26	No.27	No.28	No.29	No.30	No.31	No.32		
		12日	12日	12日	12日	12日	12日	12日	—	12日	13日	13日	13日	13日	—	—		
施工管理	10問中10問必須	No.33	No.34	No.35	No.36	No.37	No.38	No.39	No.40	No.41	No.42							
		13日	13日	13日	13日	13日	13日	14日	14日	14日	14日							
建築法規	8問中6問選択	No.43	No.44	No.45	No.46	No.47	No.48	No.49	No.50									
		14日	14日	14日	14日	14日	14日	—	—									

10 虎の巻(精選模試)の実施

本書の625ページ～642ページに掲載されている虎の巻(精選模試)は、本年度の試験に出題される可能性が高い項目を、○×問題の形式で提供しています。

虎の巻(精選模試)は、十分な学習時間をとれた方は、総合的な合格力の判定として使用してください。また、十分な学習時間をとれなかった方には、一発逆転の起爆剤となります。実施後に学習時間をとれる方は、一問ごとに赤ペンでアンダーラインを引き、内容の理解を確認しながら徹底的に学習し、確実に習得することにより、理解を深めることができます。




11 重要項目集による復習・補強

ここまでの学習を進めることにより、学科試験に合格するための実力は十分に身につくと思われれます。学習時間に余裕のある方は、本書の技術検定試験重要項目集を読み、最新問題解説を読み返すことで、復習と補強を行うことができます。

完全合格ターゲット 重要事項を集約!

第1分野 建築学等(問題1～問題17)

問題 1	完全合格ターゲット	これだけは完全に理解しよう!	選択欄
最重要事項(最新4年間の出題内容)		建築学等	環境工学
		チェック	
H30 後	露点温度とは、相対湿度が100%になり、結露が生じ始める温度である。		
H30 前	必要換気量は、在室者の人数(人の呼吸による汚染物質質量)で変動する。		
H29 後	「換気回数 $N = 1$ 時間あたりの換気量 $Q \div$ 室容積 V 」である。($N=Q/V$)		
H29 前	結露を防止するには、壁に熱貫流抵抗の大きい断熱材を用いる。		
H28 -	冬季の終日日射量は、各鉛直面のうち、南向きの鉛直面が最大となる。		
H27 -	輝度とは、光源面における光束の面密度であり、光源の明るさを示す。		
<p>▶ 相対湿度：その気温における飽和水蒸気圧に対する水蒸気分圧 [%] である。飽和水蒸気圧は、気温が高いほど大きくなる。</p> <p>▶ 結露：朝方に温度が低下すると共に、飽和水蒸気圧が下がり、湿り空気中の水蒸気が水滴となる現象である。壁面に断熱材を用いて熱貫流抵抗を大きくすると、防止できる。</p> <p>▶ 南向きの鉛直面：東西面と比べて、冬季には日射量が多くなり、夏季には日射量が少なくなるため、居室の窓を設ける面として望ましい。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;"> <p>東京 (北緯 35° 40')</p> <p>日射量 [MJ/(m²・日)]</p> <p>12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 [月]</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>大気透過率：0.7</p> <p>① 水平面 ② 南面 ③ 東南面, 南西面 ④ 東面, 西面 ⑤ 東北面, 西北面 ⑥ 北面</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">水平面・鉛直面の終日直達日射量の年変化(東京の例)</p>			
<p>▶ 輝度 [cd/m²]: <small>カンデラ毎平方メートル</small> 光を発生又は反射している物体の単位面積あたりの光度をいう。</p> <p>▶ 照度 [lx]: <small>ルクス</small> 光を受ける面の単位面積あたりに入射する光束の量をいう。</p>			

問題 2		完全合格ターゲット	これだけは完全に理解しよう!	選択欄
最重要事項(最新4年間の出題内容)		建築学等	環境工学	チェック
H30 後	点光源からある方向に向かう光の強さを示す量を、光度という。			
H30 前	人工光源の色温度は、低いと赤みがかかり、高いと青みがかかる。			
H29 後	第2種機械換気方式は、室内が正圧で、他室からの空気が侵入しない。			
H29 前	コンクリート壁で高音域を、壁内の空気層で低中音域を吸音する。			
H28 -	人工光源の色温度は、低いと赤みがかかり、高いと青みがかかる。			
H27 -	講演室は、残響時間を短くする。音楽ホールは、残響時間を長くする。			
<p>▶ ^{カンデラ}光度 [cd] : 光源からある方向に向かう光束の単位立体角あたりの割合をいう。</p> <p>▶ 機械換気方式 : 第1種は機械給気・機械排気、第2種は機械給気・自然排気、第3種は自然給気・機械排気となっている。</p> <div style="text-align: center;"> <p>第1種機械換気方式</p>  <p>給気 → 駐車場・クリーンルームなど (圧力は調整可) → 排気</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>第2種機械換気方式</p>  <p>給気 → 手術室・ボイラー室など (正圧) → 排気</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>第3種機械換気方式</p>  <p>給気 → 台所・便所・喫煙室など (負圧) → 排気</p> </div> <p>▶ 残響時間 : 音源を停止した後、音圧レベルが 60dB 減衰するまでの時間をいう。短いと、話を聞き取りやすくなる。長いと、音の響きが良くなる。</p>				

第2分野 建築施工

● 過去問題の出題分析

● 最新問題解説 [躯体工事の図解講習](#) 無料 YouTube 動画講習

[仕上げ工事の図解講習](#) 無料 YouTube 動画講習

● 技術検定試験 重要項目集

2.1	仮設・基礎工事	413
2.2	鉄筋コンクリート工事	418
2.3	鉄骨工事	425
2.4	木工事・建設機械・各種躯体工事	429
2.5	防水工事	432
2.6	石・タイル・屋根・金属工事	436
2.7	建具・左官・塗装工事	441
2.8	内装・外装工事	447

「令和元年度前期学科試験の問題と解答」は、GET 研究所ホームページから取得できます。(令和元年6月末予定)

「令和元年度後期学科試験の問題と解答」は、GET 研究所ホームページから取得できます。(令和元年11月末予定)

<http://www.get-ken.jp/>



建築施工(躯体工事)

過去問題の出題分析

分野	出題項目	学習のポイント	最新4年間(6回分)の分析					
			30後	30前	29後	29前	28	27
仮設・土工事	調査・試験	平板載荷試験、標準貫入試験			●●	●		●
	仮設・墨出	やり方、墨出、乗入れ構台、足場		●	●	●	●	●
	山留め	水平切梁、アイランド、逆打ち工法			●	●	●●	●
	土工事	ヒービング、締固め、余盛	●			●	●	●
杭	杭地業・地盤改良	既製杭、場所打ち杭、地盤改良		●	●	●	●	●
鉄筋	鉄筋継手・定着	ガス圧接、重ね継手、鉄筋の定着		●	●	●	●	●
	鉄筋加工・組立	最小かぶり厚さ、フック、間隔	●		●	●	●	●
型枠	型枠工事	設計荷重、支柱の種類、存置期間	●●	●	●	●●	●	●
コンクリート	コンクリート調合	骨材、水セメント比、細骨材率		●	●	●	●	●
	コンクリート打込み・締固め	打重ね時間、打込み、タンピング			●	●	●	●
	コンクリート型枠取外し・養生	養生日数、マスコンクリート			●		●	●
鉄骨	鉄骨工事、防錆	赤熱加工、ボルト孔、スタッド	●	●	●	●		
	鉄骨接合・鉄骨鉄筋	高力ボルト、溶接、耐火被覆				●	●	●
	鉄骨建方・アンカーボルト	建入れ直し、仮ボルト、アンカーボルト3山以上			●		●	●
木造	木工事	木材の継手、土台、建方	●●	●	●	●	●	●
解体	建設機械・解体工事	解体作業、定格荷重、航空障害灯、エレベーター、			●	●	●	●

分野	出題項目	学習のポイント	最新4年間(6回分)の分析					
			30後	30前	29後	29前	28	27
防水	防水工事	アスファルト、合成高分子、塗膜	●		●	●●	●	●●
	シーリング工事	ジョイント、シーリング施工		●	●		●	
石・タイル	石工事	乾式工法、湿式工法	●			●		●
	タイル工事	密着張り、マスク張り、伸縮目地		●	●		●	
金属工事	屋根工事	折板葺、金属板葺、雨どい		●	●	●	●	●
	軽量鉄骨工事	軽量鉄骨壁下地、天井下地			●		●	●
	金属工事	アルミニウム製笠木、表面仕上げ	●			●		
左官	左官下地工事	モルタル、仕上げ塗材、プラスター		●	●	●●	●	●
	左官仕上げ工事	モルタル、プラスター、ロックウール	●		●		●	●
建具	建具工事	アルミニウム建具、建具金物	●		●●	●●	●	●●
	ガラス工事	グレイジング、構造ガスケット		●			●	
塗装	塗装工事	塗装下地、塗装工事、塗装欠陥	●	●	●	●	●	●
内装・外装・断熱工事	木工事・フローリング工事	削りしろ、木れんが、溝じゃくり			●●		●	
	内装床工事	ビニル床張り、床塗り		●	●			●
	内装・壁・天井工事	せっこうボード張り、フローリング	●		●	●	●●	
	カーペット・カーテン工事	グリッパー工法、ケースメントカーテン	●	●		●●		●
	外装工事	ALCパネル、押出成形セメント板			●	●	●●	●●
	断熱工事	硬質ウレタンフォーム、接着性				●		●

※問題 18～問題 32 までの 15 問題のうちから、12 問題を選択する出題形式です。(選択問題)

平成 29 年度以前の試験問題では、平成 30 年度の試験問題とは、出題順や出題数が異なっていたため、本書では最新の出題方式に合わせて問題を再配置しています。本書の最新問題解説では、「問題○」とある数字を最新の出題方式に合わせた番号とし、「No. ○」とある数字を過去の試験問題における番号としています。

問題 18 H30 後期 -No.18

土工事の埋戻し及び締固めに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 透水性のよい山砂を用いた埋戻しでは、水締めで締め固めた。
2. 埋戻し土は、砂に適度の礫やシルトが混入された山砂を使用した。
3. 建設発生土に水を加えて泥状化したものに固化材を加えて混練した流動化処理土を、埋戻しに使用した。
4. 動的な締固めを行うため、重量のあるロードローラーを使用した。

ポイント解説 躯体工事 動的な締固めを行うには、振動ローラーなどを使用する。 **正解(4)**

1. **正** 透水性の良い山砂を用いた埋戻しでは、各層の仕上り厚さを 30cm 以下として、水締めにより締め固める。
2. **正** 砂に適度の礫やシルトが混入された山砂は、粒度分布が良い(粒径が適度にばらついている)ため、埋戻し土として適している。
3. **正** 流動化処理土(低品質の建設発生土に水を加えて泥状化したものに、セメント等の固化材を加え、混練して養生したものは、埋戻しに使用することができる。
4. **誤** 動的な締固めを行うためには、振動ローラーなどを使用しなければならない。重量のあるロードローラーでは、静的な締固めのみが行える。よって、(4)は不適当。

参考 水締めができない埋戻し材料は、タンパ・ランマ・振動ローラ・振動コンパクターなどの小型建設機械を用いて締め固めることが多い。これらの小型建設機械は、振動や衝撃を与えて締め固めることができるので、動的な締固め機械と呼ばれており、機体の重量のみを利用して締め固めるロードローラーなどの静的な締固め機械と区別されている。

問題 18 H30 前期 -No.18

墨出しに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 通り心の墨打ちができないため、通り心より 1m 離れたところに逃げ墨を設け、基準墨とした。
2. 2階より上階における高さの基準墨は、墨の引通しにより、順次下階の墨を上げた。
3. 高さの基準墨を柱主筋に移す作業は、台直し等を終え、柱主筋が安定した後に行った。
4. 通り心、高低のベンチマーク等の基準墨については、図面化し、墨出し基準図を作成した。

ポイント解説 躯体工事 高さの基準墨は、必ず 1 階の基準墨を基準として設置する。 **正解(2)**

1. **正** 通り心(壁・柱などの中心線)の墨打ちができないときは、通り心から 1 m 離れた箇所に逃げ墨を設ける。この逃げ墨は、通り心の基準墨の代替として用いることができる。
2. **誤** 2階より上階における高さの基準墨は、1階床面の高さを基準とし、鉄骨や主筋に沿わせた鋼巻尺で測定して設置する。一例として、3階の高さの基準墨は、2階の高さの基準墨を引き通して上げてはならず、必ず 1階の基準墨から測定して設置する。よって、(2)は不適当。
3. **正** 高さの基準墨は、台直し(僅かにずれた鉄筋等の位置を正す作業)などを終えて柱主筋の高さが定まった後に、柱主筋に移すようにする。
4. **正** 通り心や高低のベンチマーク等の基準墨については、図面化し、墨出し基準図を作成する。その後、座標位置を示すベンチマークから通り心を設け、水準点となるベンチマークから高さの基準墨を設ける。

問題 18 H29 後期 -No.36

やり方及び墨出しに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 地墨は、平面の位置を示すために床面に付ける墨である。
2. やり方は、建物の高低、位置、方向、心の基準を明確にするために設ける。
3. 検査用鋼製巻尺は、その工事現場専用の基準の巻尺を使用する。
4. 陸墨は、垂直を示すために壁面に付ける墨である。

ポイント解説 躯体工事 陸墨は、水平を示すために壁面に付ける墨である。 **正解(4)**

1. **正** 地墨は、建築物の平面位置(X座標・Y座標)の基準を示すために、床面に付ける基準墨である。
2. **正** やり方は、地盤の掘削を行うときなどにおいて、建築物の高低・位置・方向・心の基準を明確にするために、水糸や水平材などを用いて設ける板や杭などの(基準となる)仮設物である。
3. **正** 検査用鋼製巻尺は、建築物の長さを示す基準となる巻尺であるため、その工事現場専用のものとする。工場で使用する巻尺と、現場で使用する巻尺は、その基準長さを合わせた(精度を揃えた)ものでなければならない。
4. **誤** 陸墨は、建築物の高さ(Z座標)の基準(出入口や窓の位置)を示すために、壁面に付ける基準墨である。したがって、陸墨は、垂直を示すための墨ではなく、水平を示すための墨である。よって、(4)は不適当。

第3分野 施工管理

● 過去問題の出題分析

● 最新問題解説 施工管理の図解講習 無料 YouTube 動画講習

● 技術検定試験 重要項目集

3.1	施工計画	519
3.2	工程管理	525
3.3	品質管理	534
3.4	安全管理	543

「令和元年度前期学科試験の問題と解答」は、GET 研究所ホームページから取得できます。(令和元年6月末予定)

「令和元年度後期学科試験の問題と解答」は、GET 研究所ホームページから取得できます。(令和元年11月末予定)

<http://www.get-ken.jp/>



分野	出題項目	学習のポイント	最新4年間(6回分)の分析					
			30後	30前	29後	29前	28	27
施工計画	施工計画の作成	事前調査、近隣対策、施工計画	●	●	●	●		●
	仮設計画の作成	現場事務所、仮囲い、山留め	●	●	●	●	●	●
	計画の届出	仕事、設備、事故、道路、建築	●			●	●	
	工種別施工計画	共通的事項の排除、具体的実務的事項						
	材料保管	高力ボルト、ALCパネル、ルーフィング		●	●	●	●	●
工程管理	工程管理計画	マイルストーン、工程と原価関係		●	●	●	●	●
	工程表の特徴	各作業工程表、全体出来高の工程表	●●	●	●		●	●
	ネットワーク工程表の特徴	最早開始時刻、クリティカルパス						
品質管理	品質管理計画	QC工程表、抜取検査、品質用語	●	●	●	●●	●	●
	躯体品質試験・検査	レミコン受入、溶接・ボルト検査	●●	●●	●●	●	●	●
	仕上品質試験・検査	タイル、ロックウール、水分検査					●	●
	品質七つ道具	パレート図、ヒストグラム						
	JIS Q 9000 (ISO 9000)	品質マネジメント、ISO用語						
安全管理	安全管理計画	労働災害統計、事業者の措置		●	●	●		●
	安全管理体制	元請負人の措置			●			
	作業主任者	作業主任者の必要な職務	●				●	
	足場・ゴンドラの安全・高所作業車	足場、ゴンドラ、車両系機械	●	●		●	●	●
	移動式クレーンの安全	クレーン、玉掛け、運転資格						

※問題 33～問題 42 までの 10 問題を、すべて解答する出題形式です。(必須問題)

平成 29 年度以前の試験問題では、平成 30 年度の試験問題とは、出題順や出題数が異なっていたため、本書では最新の出題方式に合わせて問題を再配置しています。本書の最新問題解説では、「問題○」とある数字を最新の出題方式に合わせた番号とし、「No. ○」とある数字を過去の試験問題における番号としています。

問題 33 H30 後期 -No.33

工事契約後に現場で行う事前調査及び確認に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 建物設計時の地盤調査は、山留め工事の計画には不十分であったので、追加ボーリングを行うこととした。
2. 防護柵を設置するため、敷地地盤の高低及び地中埋設配管の状況を調査することとした。
3. 敷地内の排水を行うため、排水管の勾配が公設ますまで確保できるか調査することとした。
4. 工事用車両の敷地までの経路において、幼稚園や学校の場所を調査し、資材輸送の制限の有無を確認することとした。

ポイント解説

施工計画

防護柵を設置するため、敷地地盤と上空架線を調査する。

正解 (2)

1. **正** 建物設計時の地盤調査は、山留めなどの大規模な工事に対しては不十分な場合がある。そのような場合には、地盤の状況を明確にするため、ボーリングなどによる追加の調査を行う。
2. **誤** 防護柵を設置するときは、電線や電柱の近くに防護柵を設けないようにするため、敷地地盤の高低や、上空架線の状況などについて、事前調査を行う。地中埋設配管の状況は、防護柵の設置とは無関係なので、調査する必要はない。よって、(2)は不適当。
3. **正** 敷地内の排水を行う必要があるときは、公設柵の高さや位置についての事前調査を行い、排水管の勾配を適切に確保できるかどうかを検討する。
4. **正** 工事用車両の敷地までの経路に幼稚園や学校がある場合、通学の時間帯は、スクールゾーンにおける車両の通行が禁止または制限されていることがあるので、資材輸送の制限の有無について、事前調査を行う。

問題 33 H30 前期 -No.33

工事に先立ち行う事前調査に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 既製杭の打込みが予定されているため、近接する工作物や舗装の現況の調査を行うこととした。
2. 掘削中に地下水を揚水するため、周辺の井戸の使用状況の調査を行うこととした。
3. 工事予定の建物による電波障害に関する調査は済んでいたため、タワークレーン設置による影響の確認を省いた。
4. 工事用車両の敷地までの通行経路において、大型車両の通行規制の調査を行い、資材輸送の制約を確認した。

ポイント解説 **施工計画** **タワークレーン設置による影響の確認は、省いてはならない。** **正解(3)**

1. **正** 既製杭の打込みをするときは、近接する工作物に対する影響や、機械搬入にあたっての舗装の現況などについて、事前調査を行わなければならない。
2. **正** 地下水の揚水を伴う掘削をするときは、揚水により井戸が使用不能となる場合があるので、地下水位の時期的(季節的)な変動や、周辺の井戸の使用状況について、事前調査を行わなければならない。
3. **誤** タワークレーンなどの高所仮設物は、工事予定の建物よりも背が高くなることが多い。そのため、タワークレーンの設置による電波障害に関する調査は、工事予定の建物による電波障害に関する調査とは別に行わなければならない。よって、(3)は不適当。
4. **正** 工事用車両の敷地までの通行経路においては、大型車両の通行規制などの資材輸送に関する制約の有無について、事前調査を行わなければならない。この事前調査の結果は、資材の調達計画を立てる際に必要となる。

問題 33 H29 後期 -No.26

事前調査と施工計画の組合せとして、最も関係の少ないものはどれか。

1. 近隣の商店や工場の業種の調査…………… 解体工事計画
2. 前面道路や周辺地盤の高低の現状調査…………… 根切り工事計画
3. 敷地内の地中障害物の有無の調査…………… 場所打ちコンクリート杭工事計画
4. 日影による近隣への影響調査…………… 鉄骨建方計画

ポイント解説**施工計画**

日影による近隣への影響調査は、建築物設計時に行う。

正解(4)

1. **正** 解体工事計画を立案するときは、粉塵対策をどのように行うかを定める必要があるため、事前に、近隣の商店や工場の業種を調査すべきである。
2. **正** 根切り工事計画を立案するときは、ダンプカーの出入口・ダンプカーの台数・掘削機械の性能などを定める必要があるため、事前に、現状における前面道路や周辺地盤の高低を調査すべきである。
3. **正** 場所打ちコンクリート杭工事計画を立案するときは、杭の配置・埋設物の処理方法などを定める必要があるため、事前に、敷地内の地中障害物の有無や、その位置などを調査すべきである。
4. **誤** 日影による近隣への影響については、鉄骨建方計画よりも以前の、建築物の設計の段階で調査が完了していなければならない。鉄骨建方計画を立案するときは、事前に、地盤の状態や、上空の障害物(高圧線など)の有無や、建築物の完成後における日影の影響などを調査すべきである。よって、(4)は関係が少ない。

問題 33 H29 前期 -No.26

工事に先立ち行う事前調査に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 解体工事で発生する木くずを廃棄処分するため、一般廃棄物としての処分場所の調査を行うこととした。
2. 敷地境界石標等があったが、関係者立会いの上、敷地境界の確認のための測量を行うこととした。
3. 既存の地下埋設物を記載した図面があったが、事前に掘削調査を行うこととした。
4. 山留め及び掘削工事に先立ち、近接家屋の現状調査を行うこととした。

ポイント解説**施工計画**

解体工事で発生する木くずは、産業廃棄物として処分する。

正解(1)

1. **誤** 工作物の新築・改築・除去に伴って生じた木くず・紙くず・繊維くずは、産業廃棄物として管理型最終処分場に埋め立てなければならない。したがって、それらを廃棄処分するときは、産業廃棄物としての処分場所の調査を行う。よって、(1)は不適当。
2. **正** 工事場所で敷地境界石標などを発見したときは、関係者に立会いを求めた上で、敷地境界を確認するための測量を行う。
3. **正** 工事場所に地下埋設物が存在するおそれがある場合は、既存の地下埋設物を記載した図面などに基づき、事前に掘削調査(試掘)を行う。
4. **正** 山留めや掘削工事を行うときは、施工前と施工後に、近接家屋や地盤の現状調査を行う。これを怠ると、施工後に発見された近接家屋のひび割れなどが、山留めや掘削工事に伴うものなのか否かが分からなくなる。

第4分野 建築法規

● 過去問題の出題分析

● 最新問題解説 建築法規の図解講習 無料 YouTube 動画講習

● 技術検定試験 重要項目集

4.1 建築基準法	602
4.2 建設業法	608
4.3 労働関係法	612
4.4 建築関連法規	618

平成 28 年 6 月 1 日に、建設業法施行令の一部が改正されました。本スーパーテキストは、最新の法改正に対応しています。

項目		旧	新
特定建設業の許可・監理技術者の配置・民間工事で 施工体制台帳の作成が必要となる下請代金額の下限	建築一式工事	4500 万円	6000 万円
	建築一式工事以外	3000 万円	4000 万円
主任技術者・監理技術者を専任で配置する必要がある 建設工事の請負代金額	建築一式工事	5000 万円	7000 万円
	建築一式工事以外	2500 万円	3500 万円

また、建設業の 28 業種に、29 個目の業種として「解体工事業」が加わったことで、建設業は 29 の業種に分類されることになりました。

「令和元年度前期学科試験の問題と解答」は、GET 研究所ホームページから取得できます。(令和元年6月末予定)

「令和元年度後期学科試験の問題と解答」は、GET 研究所ホームページから取得できます。(令和元年11月末予定)

<http://www.get-ken.jp/>



分野	出題項目	学習のポイント	最新4年間(6回分)の分析					
			30後	30前	29後	29前	28	27
建築基準法	建築用語の定義	建築物、特殊建築物、居室	●	●	●		●	
	建築手続	建築主事、確認申請、中間検査	●			●		●
	敷地・構造・設備	敷地、天井、廊下、内装制限		●		●	●	
	都市計画区域の用途	建ぺい率、日影規制、用途地域						
	仮設建築物	採光、換気、屋根の不燃化			●			●
建設業法	建設業許可	一般建設業、特定建設業、許可	●	●	●	●	●	●
	請負契約	契約書記載事項		●	●		●	●
	元請負人の義務	検査、支払、意見の聴取、台帳						
	施工管理技術者	主任技術者、監理技術者、職務	●			●		
労基法	労働契約	労働時間、休憩時間、解雇、補償	●	●	●		●	●
	就業制限	年少者、補助業務、深夜業				●		
安衛法	安全衛生教育	雇入れ教育、特別教育、職長教育		●	●			●
	安全管理体制	安全管理体制、機械作業計画				●	●	
	仕事、体制届出	労働基準監督署届出	●					
廃棄物等	建設リサイクル法	特定建設資材、発注者の計画届出				●		
	廃棄物処理法	マニフェスト、産業廃棄物	●	●	●		●	●
	道路・消防法・公害	騒音・振動規制、占用・使用許可	●	●	●	●	●	●

建築法規 最新問題解説

※問題 43～問題 50 までの 8 問題のうちから、6 問題を選択する出題形式です。(選択問題)

平成 29 年度以前の試験問題では、平成 30 年度の試験問題とは、出題順や出題数が異なっていたため、本書では最新の出題方式に合わせて問題を再配置しています。本書の最新問題解説では、「問題○」とある数字を最新の出題方式に合わせた番号とし、「No. ○」とある数字を過去の試験問題における番号としています。

問題 43 H30 後期 -No.43

次の記述のうち、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 特定行政庁は、工事の施工者に対して工事の計画又は施工の状況に関する報告を求めることができる。
2. 建築主は、木造で階数が 3 以上の建築物を新築する場合、原則として、検査済証の交付を受けた後でなければ、当該建築物を使用し、又は使用させてはならない。
3. 工事施工者は、建築物の工事を完了したときは、建築主事又は指定確認検査機関の完了検査を申請しなければならない。
4. 建築主事は、鉄骨 2 階建ての建築物の確認申請書を受理した場合、その受理した日から 35 日以内に、建築基準関係規定に適合するかどうかを審査しなければならない。

ポイント解説 建築基準法 完了検査の申請は、工事施工者ではなく建築主が行う。

正解 (3)

1. **正** 特定行政庁は、工事の施工者に対して、建築物に関する工事の計画もしくは施工の状況に関する報告を求めることができる。
2. **正** 階数が 3 以上の木造の建築物を新築する建築主は、原則として、検査済証の交付を受けた後でなければ、当該建築物を使用したり、使用させたりしてはならない。
3. **誤** 建築物の工事を完了させた建築主は、建築主事または指定確認検査機関による完了検査を申請しなければならない。この申請をするのは、工事施工者ではなく建築主であることに注意が必要である。よって、(3)は誤り。
4. **正** 建築主事は、階数が 2 以上の木造以外の建築物の確認申請書を受理した場合は、その受理した日から 35 日以内に、申請に係る建築物の計画が建築基準関係規定に適合するかどうかを審査し、審査の結果に基づいて、建築基準関係規定に適合することを確認したときは、申請者に確認済証を交付しなければならない。

参考 検査済証や確認済証の交付が必要になるのは、原則として、次のいずれかに当てはまる建築物を建築する場合である。

- ①耐火建築物等としなければならない特殊建築物で、特殊建築物としての用途に供する部分の床面積の合計が 100m^2 を超えるもの
- ②木造の建築物で、3 以上の階数を有するか、延べ面積が 500m^2 を超えるか、高さが 13 m を超えるか、軒の高さが 9 m を超えるもの
- ③木造以外の建築物で、2 以上の階数を有するか、延べ面積が 200m^2 を超えるもの

問題 43 H30 前期 -No.43

用語の定義に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 間仕切壁は、建築物の構造上重要でないものであっても、主要構造部である。
2. ガラスは、不燃材料である。
3. 建築物を移転することは、建築である。
4. 住宅の浴室は、居室ではない。

ポイント解説 建築基準法 間仕切壁は、主要構造部ではない。

正解(1)

1. **誤** 主要構造部とは、壁・柱・床・梁・屋根・階段をいう。ただし、建築物の構造上重要でない間仕切壁・間柱・付け柱・揚げ床・最下階の床・回り舞台の床・小梁・ひさし・局所的な小階段・屋外階段・その他これらに類する建築物の部分を除く。よって、(1)は誤り。
2. **正** 不燃材料とは、建築材料のうち、不燃性能に関して技術的基準に適合するものをいう。代表的な不燃材料には、コンクリート・レンガ・陶磁器質タイル・ガラス・モルタル・ロックウール・グラスウール板などがある。
3. **正** 建築とは、建築物を新築・増築・改築・移転することをいう。
4. **正** 居室とは、居住・執務・作業・集会・娯楽・その他これらに類する目的のために、継続的に使用する室をいう。浴室・廊下などは、継続的に使用しないので、居室ではない。

問題 43 H29 後期 -No.18

用語の定義に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 地下の工作物内に設ける倉庫は、建築物である。
2. 自動車車庫の用途に供する建築物は、特殊建築物である。
3. 主要構造部を準耐火構造とした建築物は、すべて準耐火建築物である。
4. 作業の目的のために継続的に使用する室は、居室である。

ポイント解説 建築基準法 規定の防火設備がなければ、準耐火建築物ではない。

正解(3)

1. **正** 建築物とは、土地に定着する工作物のうち、屋根および柱もしくは壁を有するもの、これに附属する門もしくは扉、観覧のための工作物または地下もしくは高架の工作物内に設ける事務所・店舗・興行場・倉庫などをいう。したがって、地下の工作物内に設ける倉庫は、建築物である。
2. **正** 特殊建築物とは、学校・体育館・病院・劇場・旅館・共同住宅・工場・倉庫・自動車車庫などの用途に供する建築物をいう。したがって、自動車車庫の用途に供する建築物は、特殊建築物である。
3. **誤** 準耐火建築物とは、耐火建築物以外の建築物で、主要構造部を準耐火構造としたものまたはそれと同等の準耐火性能を有するもののうち、外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に、防火戸などの防火設備を有するものをいう。この防火設備がなければ、主要構造部を準耐火構造とした建築物であっても、準耐火建築物としては扱われない。よって、(3)は誤り。
4. **正** 居室とは、居住・執務・作業・集会・娯楽その他これらに類する目的のために継続的に使用する室をいう。したがって、作業の目的のために継続的に使用する室は、居室である。

問題 43 H29 前期 -No.18

建築確認手続き等に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 確認済証の交付を受けた工事の施工者は、工事現場の見易い場所に、国土交通省令で定める様式によって、建築確認があった旨の表示をしなければならない。
2. 確認済証の交付を受けた工事の施工者は、建築物の工事が完了したときには、建築主事又は指定確認検査機関の完了検査を申請しなければならない。
3. 建築確認申請が必要な建築物の工事は、確認済証の交付を受けた後でなければ、することができない。
4. 特定工程後の工程に係る工事は、当該特定工程に係る中間検査合格証の交付を受けた後でなければ、施工することができない。

ポイント解説 建築基準法 建築主は、建築物の工事が完了した時、完了検査を申請する。 正解(2)

1. **正** 確認済証の交付を受けた工事の施工者は、当該工事現場の見易い場所に、当該工事に係る建築確認があった旨の表示をしなければならない。
2. **誤** 確認済証の交付を受けた工事の建築主は、建築物の工事が完了したときには、建築主事又は指定確認検査機関の完了検査を申請しなければならない。完了検査を申請するのは「施工者」ではなく「建築主」である。よって、(2)は誤り。
3. **正** 確認済証の交付を受けた後でなければ、建築確認申請が必要な建築物の工事(建築・大規模の修繕・大規模の模様替)をすることはできない。
4. **正** 特定工程後の工程に係る工事は、当該特定工程に係る中間検査合格証の交付を受けた後でなければ、施工してはならない。

問題 43 H28-No.18

用語の定義に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 駅のプラットフォームの上家は、建築物ではない。
2. 直接地上に通ずる出入口のある階は、避難階である。
3. 間柱は、建築物の構造上重要でないものであっても、主要構造部である。
4. 建築物に関する工事用の仕様書は、設計図書である。

ポイント解説 建築基準法 主要構造部とは、壁・柱・床・梁・屋根・階段の6部位をいう 正解(3)

1. **正** 建築物とは、屋根・柱・壁を有して土地に定着する工作物と、その附属施設および建築設備をいう。ただし、駅のプラットフォームの上家・鉄道の線路敷地内の運転保安に関する施設・跨線橋・貯蔵槽を除く。
2. **正** 避難階とは、直接地上へ通ずる出入口のある階(階段を使用せずに安全な地上に出ることができる階)をいう。
3. **誤** 主要構造部とは、壁・柱・床・梁・屋根・階段の6部位をいう。ただし、間柱(間仕切壁の下地として施工される柱)・最下階の床・屋外階段などの建築物の構造上重要でない部位を除く。よって、(3)は誤り。
4. **正** 設計図書とは、建築物・敷地などに関する工事用の図面および仕様書をいう。設計図書には、法的な拘束力がある。

2級建築施工管理技術検定 学科試験



1 虎の巻(精選模試)第一巻 60分間

2 虎の巻(精選模試)第二巻 60分間

GET WEB 講習 講習

2級建築
施工管理技術検定
学科試験

「虎の巻」解説講習

無料 YouTube 動画講習